

ニュータウン動物事情

上村哲三・中田一真（ごもくやさん）

1. はじめに

「ごもくやさん」は三田市中央公園を中心に、2010年10月の発足以来、里山管理に取り組んでいる。除間伐をした森で、生き物たちの様子がどのように変化するか、自動カメラ等を活用しながら継続的に調査・記録している。

今回は、三田ウッディタウンの各所に設置したカメラのうち、「けもの道」の利用頻度に着目してデータを整理した。タヌキ、キツネ、アナグマ、アライグマといった動物が、時期的、場所的にニュータウンの中で棲み分けをしているのでは？という考察が得られた。

また、近年、兵庫県内でも猛威をふるっているカシノナガキクイムシとニュータウンで暮らすテンの意外な関係を写真に収めることにも成功した。

自動カメラによるアナグマの巣穴観察も継続して行なっており、巣穴を巡る動物たちの争いも記録を続けている。「第14回共生のひろば」では、「平成最後の巣穴合戦」を動画展示することとした。

2. 方法

(1) 自動カメラによるけもの道調査2018

・三田ウッディタウン周辺の「けもの道」に設置した自動カメラ4台(*)分のデータを整理した。

*①中央公園(西)、②中央公園(東)、③けやき台3丁目、④関西学院大学

(①~③は2018年1~12月、④は同年7~12月の撮影データ)

・今回は餌や巣穴の競合が想定される4種(タヌキ、キツネ、アナグマ、アライグマ)に着目した。

(2) カシノナガキクイムシとテンの意外な関係

・自動カメラにより、カシノナガキクイムシ食害木に現れるテンを撮影した。

(3) 平成最後の巣穴合戦

・三田市中央公園内のアナグマ巣穴前に設置したトレイルカメラで、巣穴を巡る動物たちの攻防を記録した。

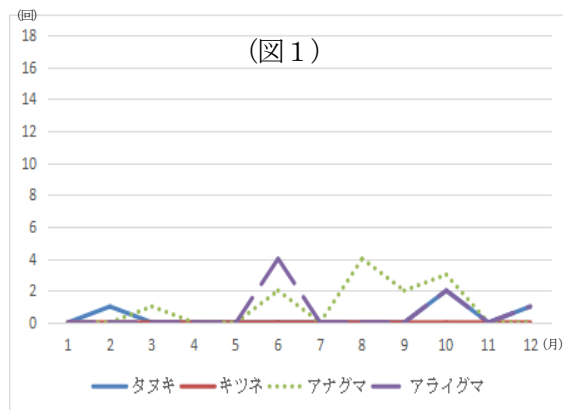
3. 結果と考察

(1) 自動カメラによるけもの道調査2018

・地点別、種類別、月別の4種出現回数をグラフ化し、傾向を把握した。

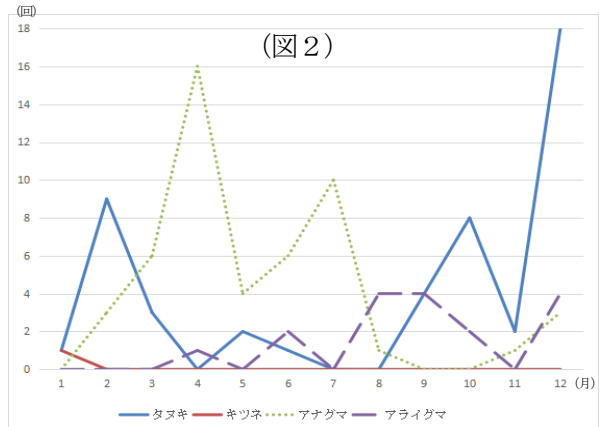
① 中央公園(西)(図1)

・動物の登場回数が少なく、傾向まで把握できなかった。



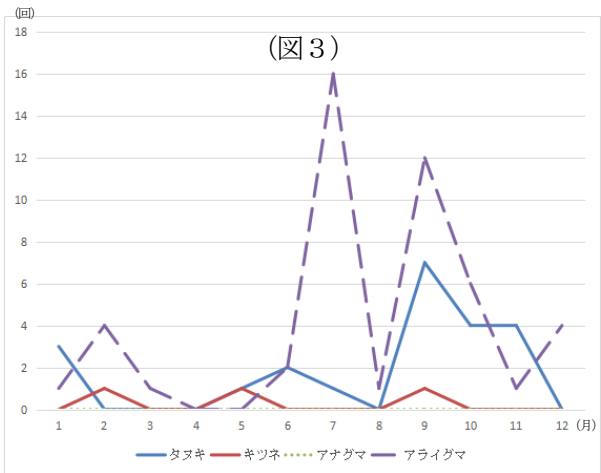
② 中央公園（東）（図2）

- ・春から夏はアナグマ、秋から冬はタヌキの登場回数が多い。
- ・アライグマの登場回数は少ない。
- ・アライグマとアナグマが場所的に棲み分けか？
- ・タヌキとアナグマは時期的に棲み分けか？



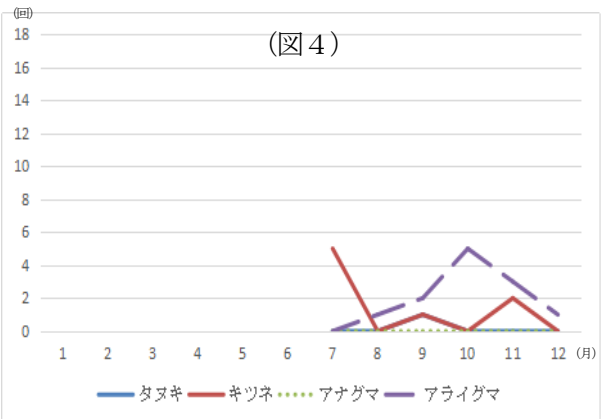
③ けやき台3丁目（図3）

- ・夏から秋はアライグマの登場回数多。
- ・アナグマは登場せず。
- ・アライグマとアナグマが場所的に棲み分けか？



④ 関西学院大学（図4）

- ・調査期間が7月以降と短い割に、他所に比ベキツネの登場回数が多い。



②、③の地点は地域的に地続きとなっている。その中で、アライグマとアナグマの場所的棲み分け、タヌキとアナグマの時期的棲み分けを想起させる活動傾向が把握できたことは大変興味深い。今後、自動カメラを増設または配置変更し、データを蓄積すれば、動物たちの場所的、時期的棲み分けの実態がより明確に把握できるものとする。

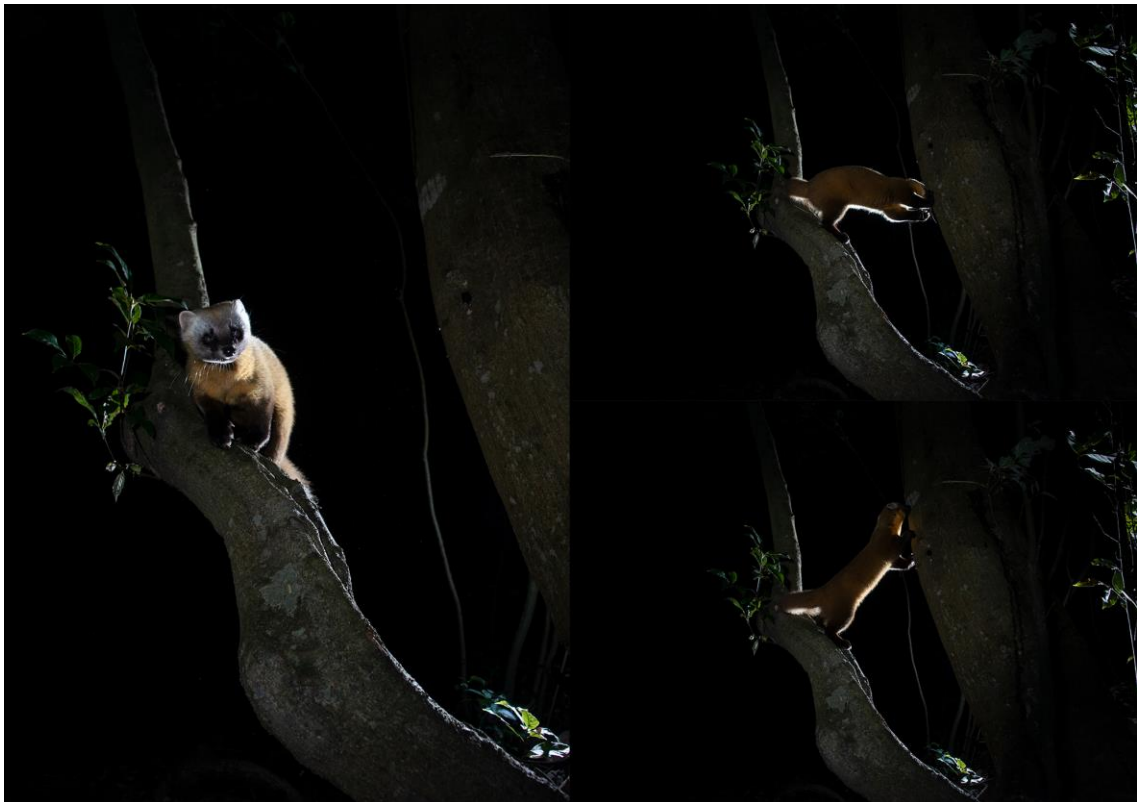
今回の観察にあたっては、関西学院大学 総合政策学部 佐山浩教授のご協力を得て、同大学敷地内に新たにトレイルカメラを増設することができた。厚く御礼申し上げます。

(2) カシノナガキクイムシとテンの意外な関係

近年、兵庫県内でもカシノナガキクイムシ（以下、カシナガという）食害によるナラ枯れが蔓延し、三田ウッディタウン内のコナラやアラカシも相当数が被害を受けている。

2017～2018年の冬、けやき台3丁目に設置した自動カメラ（トレイルカメラ）に、テンの姿が頻繁に記録された。2匹のテンが毎夜のごとく、アラカシの木に登り、樹皮を舐めるような仕草をしている。当該アラカシを調べてみると、カシナガの食害を受けており、多数の穿孔から樹液を流していた。テンはその樹液を舐めにやって来ていたのだ。

別途、スチールカメラを設置し、カシナガ被害木に登るテンの姿を鮮明に捉えることに成功した（写真1参照）。カシナガ被害木の流す樹液は、小はアリやハチなどの昆虫から、大は哺乳類のテンまで、多くの森の仲間に恵みをもたらしているともいえる。



(写真1) カシナガ被害木に登り、穿孔から流れる樹液を舐めるテン(2018年1月5日5時46分)

(3) 平成最後の巣穴合戦

中央公園の森の中に、アナグマたちが代々使い続けている巣穴がある。その巣穴は近年、春から夏はアナグマが、秋から冬はタヌキが使っている。といっても、仲良くシェアしているわけではなく、空き巣狙いと居座りによる奪い合いの結果だ。

穴があったら入りたい動物には、これ以外にも、アライグマやアカネズミ、キツネにテン、ネコなどいて、油断も隙もない。

2018年は「アナグマ VS タヌキ」(5月14日15時26分)、「アナグマ雌 VS アナグマ雄」(7月3日15時3分)、「アナグマ VS ネコ」(7月21日20時5分)の争いが、観察用の自動カメラ（トレイルカメラ）により記録された。

以上